

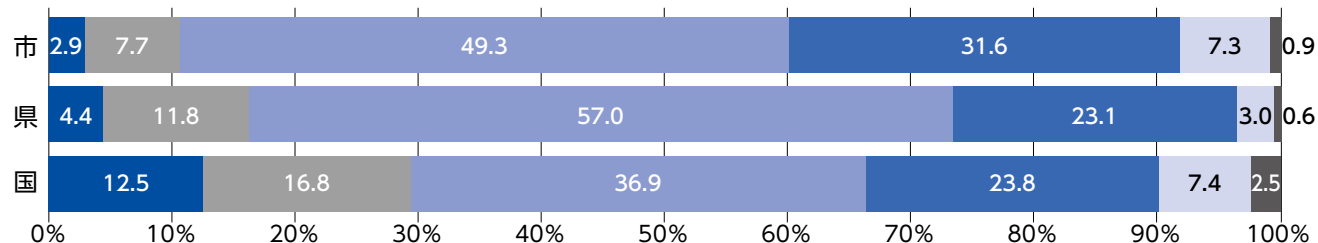
平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果 (その2)

【問合せ】 学校教育課 ☎773-6700

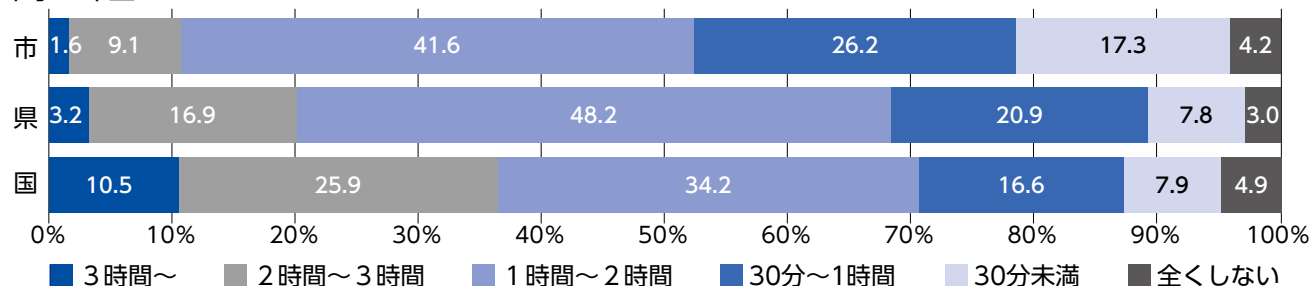
市報10月15日号に続き、4月17日(火)に実施された全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。今回は、学習状況などに関する調査結果です。

1 学校の授業時間以外で、月～金曜日に1日当たりどのくらい勉強しますか（塾や家庭教師を含む）。

小学6年生



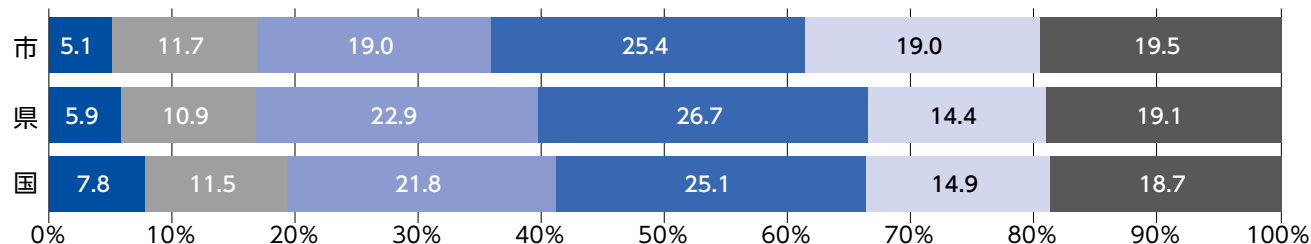
中学3年生



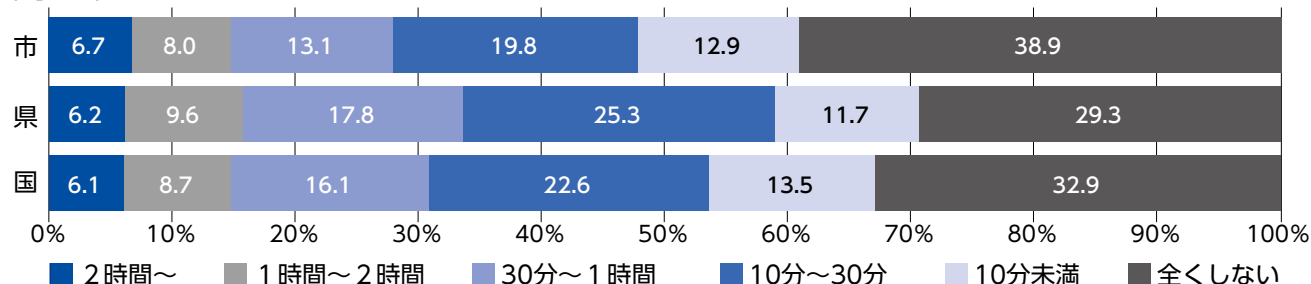
「1時間以上学習した時間」を前年度と比較すると、小学6年生は平成28年度に続き「66.0%」から「59.9%」に減少しました。中学3年生も「53.8%」から「52.3%」に減少しました。南魚沼市後期教育基本計画では、月～金曜日に1時間以上家庭学習をする子どもの割合を増やすことを重点にしていますが、逆の傾向が続いています。学習時間の引き上げは大きな課題です。

2 学校の授業以外で、月～金曜日に1日当たりどのくらい読書をしますか。

小学6年生



中学3年生



読書の効果は数多く、読み書きの力、想像力、集中力、語彙力などを高め、人間の脳の発達に好影響をもたらします。読書時間については、中学生で全くしない割合が高めですが、小学校、中学校ともに全国、県の水準とほぼ同レベルです。この好ましい状況を維持し、子どもたちの知力の基礎を養っていければと思います。活字離れが進んでいる現代こそ、読書の効果を再認識し、文章を味わいながらじっくりと読む習慣をつけてもらいたいと思います。また、読書好きを増やす環境づくりにも力を入れていく必要があります。